

- 収穫作業を請け負うサービス事業者から得られた収穫データを複数の生産者と共有・分析。
- 収穫データを基に可変施肥を実施し、収益性アップ。

## 経営上の課題

- ・ 北海道士別市温根別町は、高齢化により農業戸数が減少し、1戸当たり農地面積の増加が見込まれている。
- ・ 今後は耕作面積の維持かつ生産量の維持・向上が課題となるが、農家個人で対応することは困難な状況。

- ・ 農業支援サービスを活用し、労働力と農業機械の集約を図る必要がある。

### 申請者：

穴戸真、齊藤啓、佐々木章元、植西康隆、上川恭平  
(北海道士別市)

### 対象品目：

小麦・大豆

### スマート農業技術：

収量計測機能付きコンバインによる収穫作業

### 新たな生産方式：

収穫作業で得られたデータを営農管理システムに集約し、生産者間で共有・分析。

### 活用予定の支援措置：

日本政策金融公庫の長期低利融資  
補助事業の優遇措置

## 計画の概要

### 【申請者】

穴戸真 ほか4名

### 新たな生産方式

収穫作業で得られたデータを  
営農管理システムに集約

生産者間でデータを  
共有・分析



翌年度以降、データに  
基づいた可変施肥を実施



【サービス事業者】  
株式会社 3 Magic

### スマート農業技術



収量計測機能付きコンバイン  
による収穫作業で収量・水分  
のデータを取得

作業委託



データの  
共有